

3つのRで、ごみ減量を

【問い合わせ】クリーンセンター ☎23-3567

半田市の家庭からは、まだまだ多くごみが排出されており、県内の他市町と比べても多くのごみが排出されています。また、市民1人が1日に排出するごみ量は、県の平均値より約60グラムも多いという結果が出ています。県の平均値までごみを減量することで、年間約2,754トンのごみ減量となり、約9,000万円の経費削減につながります。市民のみなさんは、以下で紹介する3つのRを生活に取り入れていただき、ごみ減量にご協力ください!

3つのRって何? ●

3つのRとは、ごみ減量に重要な方法を表す言葉で、一般的に3R(スリーアール)と呼ばれています。

- ①Reduce [リデュース] … ごみを出さないようにすること
- ②Reuse [リユース] …… 使えるものは繰り返し使うこと
- ③Recycle [リサイクル] … ごみを資源として再び利用すること



今日からできる! 家庭内での3R ●

家庭内で取り組める3Rはたくさんあります。ごみを減らすことで普段のごみ出しの負担も軽減できます。ぜひ実践してみてください!

- ①無駄な食品を買わない
普段のお買い物で、本当に必要な分(食べ切る分)だけを買うようところがけましょう。無駄がなくなることで、お財布にも優しいですよ!
- ②水切り
生ごみの約80%は水分といわれており、水切りネットなどを使用することで手軽にごみ量を削減することができます。
- ③資源の分別
缶やビン、古紙などのリサイクルできるものは地域の資源回収などに出しましょう。市ホームページにて回収場所などを紹介していますのでご確認ください。

3Rアドバイザーの活動にご協力ください ●

みなさんの各地区には3Rアドバイザーという、地域から推薦され、市長が委嘱した方々が、住みよいきれいな街にするためにごみの減量やごみステーションの美化に努めています。

3Rアドバイザーの
仕事

- ・ごみ分別の徹底
- ・リサイクルの推進
- ・ごみの正しい出し方の指導



3Rアドバイザーの活動の様子